

第1学年 英語科学習指導案

日時 平成29年9月26日(火) 5校時
学級 1年B組 男子17名 女子17名
計34名
場所 1年B組教室
授業者 教諭 堤 晶子

1. 単元名 PROGRAM6 由紀のイギリス旅行

2. 単元について

本単元は中学校学習指導要領外国語科の言語活動における指導事項「書くこと(イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」を指導内容としている。本校CAN-DOリスト1年生「書くこと(1)授業で学習した内容を参考にして、まとまりのある英文(3文)を書くことができる」の達成に向け、単元末に適切な言語使用場面を設定し、コミュニケーション活動を通じて得た情報に基づき肯定文や否定文を正しく書く活動を行い、My Project2「人を紹介しよう」につなげたい。

本単元では、由紀は夏休み中にイギリスでホームステイをしている。由紀はホストファミリーのジュディ、ジュディの友人マットと一緒にロンドン市内を観光し、マットがファンであるシャーロックホームズの博物館を訪れる。会話を通じて3人が日本のアニメ「名探偵コナン」とコナン・ドイルとの関係に気付く内容である。現在もテレビ放送されているアニメに触れながら、内容をより身近に感じとらせたいと考える。

本単元の主な新出言語材料は、3人称単数現在(以下3単現)の肯定文、疑問文、否定文である。3単現の肯定文(3単現s)を用いて第3者がすることについての表現、疑問文(Does~?)とその応答を用いて知りたい情報を引き出すこと、否定文(doesn't)を用いて第3者がしないことについての表現の3つである。

3. 生徒の実態

1学期の学習内容は小学校の外国語活動で親しんだ単語や表現が多く、4月から意欲的に英語学習に取り組んでいる。1学期定期テストの点数分布を見ると、70点から80点台が最も多く、評定4以上の生徒の割合が70%を超えている。また、NSとのTT授業で行う話す活動中心の授業にも積極的に取り組み、生徒が書いた単語の綴りや英文の構成については間違いが少ないとNSからも評価されている。しかし、男女の平均点には10点程度の開きがあり、書くことに苦手意識を感じる生徒もいる。そのため、書く活動の補充として、教師から個に応じた家庭学習内容を提示している。

また、新出言語材料を学習する際には、まず、既習の1・2人称単数現在形と対比させて、第3者についての表現について違いに気付かせながら文法事項の確認を行う。その後話す活動で文型練習を重ねる。さらに情報を整理して考えをまとめるための書く活動を行う中で生徒自身の達成感を高め、書くことへの苦手意識を減らしていきたい。

綴りや構文の間違いを個別にチェックするために、振り返りシートの「評価の理由」欄にターゲットセンテンスに関わる1文を記載させ、本時の目標が達成されているかの確認を行っている。生徒の意欲喚起になると同時に、教師自身の授業の振り返りと次時への教材研究にも反映させることができ有効であると考えている。

4. 単元の目標

- (1) 本単元で習得した言語材料や既習事項を用いて、第3者について尋ねたり、答えたりして集めた情報を書いてまとめる活動を行うことで、3単現の理解をより深める。
- (2) 3単現の肯定文(3単現s)を用いて、第3者がすることを表現できる。
- (3) 3単現の疑問文(Does~?)とその応答を用いて、知りたい情報を得るために尋ねたり、答えたりすることができる。
- (4) 3単現の否定文(doesn't)を用いて、第3者がしないことを表現できる。

5. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの意欲・関心・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
ペアワークにおいて間違ふことを恐れずに積極的に話している	友だちにインタビューした内容を整理して書くことができる	/	一般動詞の3人称単数現在形を用いた文の構造を理解している

6. 単元の指導計画(7時間扱い)

	学習活動	評価規準
第1時	既習の現在形との対比を行い一般動詞3単現sの肯定文の構造を学び、教科書のListen、Speak、Tryやペアワークを行い、3単現sの語形変化を確認し、第3者がすることを表現する	エ
第2時	ロンドンの観光案内の対話文の内容をおおまかに理解し、正しい発音と英語らしいイントネーションで音読する	ア エ
第3時	一般動詞3単現の疑問文とその応答についてペアワークを行って、知りたい情報を尋ねたり、相手の質問に答えたりする	エ
第4時	ベイクーストリート駅構内での対話文の内容をおおまかに理解し、正しい発音と英語らしいイントネーションで音読する	ア エ
第5時(本時)	一般動詞3単現の否定文について語形変化を確認し、ペアワークを行って友だちにインタビューした内容を整理して、第3者がしないことを表現する	エ
第6時	シャーロックホームズ博物館での対話文の内容をおおまかに理解し、正しい発音と英語らしいイントネーションで音読する	ア エ
第7時	プログラム6のまとめ(NSとのTT) 単元で習得した言語材料や既習事項を用いて、第3者について尋ねたり、答えたりして集めた情報を書いてまとめたりする活動を行うことで、3単現の理解をより深める	ア イ エ

7. 本時の指導

(1) 本時の目標

ペアワークを通じて情報を整理し、一般動詞3単現の否定文を用いて、第3者が「～しない」ことについて正しく表現することができる。

(2) 本研究とのかかわり

本時は本校研究における言語活動の柱3、4を取り入れて指導する。

言語活動の柱3「生徒同士（ペア、グループなどの活動）で、自分自身の考えを持ってかかわりあい、交流しながら表現する活動」として、導入段階で、英語を聞いてその内容と、既習の現在形の否定文（don't）と3単現の否定文（doesn't）の違いについて、自分の言葉で相手に説明する活動として行う。

さらに、言語活動の柱4「授業でわかったこと、わからなかったことを整理させ、生徒の学びを確かなものにするとともに、家庭学習との連動を目指した振り返り活動」として、終末段階で、生徒自身と教師が学習課題について評価できるような内容の1文を振り返りシートの理由欄に記入させる活動として行う。生徒自身の学習内容の定着状況についてチェックさせポイントを確認させるとともに、授業後シートを回収して生徒の英文が正しく書かれているかを教師が確認し指導の補充に生かす。

(3) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準	評価の方法
言語や文化についての知識・理解	一般動詞の3人称単数現在形を用いた文の構造を理解して、正しい英文を書くことができる	活動の観察 振り返りシートの記述内容 後日テスト

(4) 本時の展開

	学 習 活 動	○指導上の留意点 ●評価
導入 10分	1. あいさつ 2. Warm up ペアワークで学習シートの対話を行う 3. 本時の学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①学習課題に関わる英文を聞く ②内容を全体で確認する ③自分と第3者について「～しない」の表現の違いを自分の言葉で相手に説明する ④③について全体で確認する </div>	○既習の疑問文Are you～? Do you～?とその応答のしかたを確認させる ○I don't play tennis. 「～しない」の言い方を再確認させる ○教師が話す自分と第3者が「～しない」ことを表す英語を聞いて、内容と英語の違いについて気付かせ、決められた時間内で相手に説明させる ●英語の内容と表現の違いについてペアで話そうとしている (言語や文化についての知識・理解)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> doesn'tを用いて、ほかの人(1人)が「～しない」ことについて表現できるようになるう </div>	
展開 35分	4. Listen (教科書の問題) 5. Speak (教科書の問題) 6. 文法事項の確認 7. コミュニケーション活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①モデル対話を練習する ②時間内に5人の生徒と会話をする ③会話を通じてわかった情報を○×でメモする ④わかった情報から1人を選んでdoesn'tを用いて英文にする </div>	○doesn'tの使い方に注意させながら取り組ませる ○「ビルは～しない」の言い方を用いて文を正しく言えるように指導する ○コミュニケーション活動で正しい英文を言えるように、文法事項「doesn't + 一般動詞の原形」を確認する ○モデル対話を音読し疑問文と応答のしかたを再確認する ○集めた情報から英文を作成する際の例を提示する (教室内掲示) ●新出の言語材料を用いた文構造を理解している (言語や文化についての知識・理解)
終末 5分	8. 活動の振り返り わかったこと、わからなかったこと等評価の理由を自分の言葉で整理する 9. 次時予告と家庭学習について 次時までの家庭学習内容を記入する	○学習課題を評価できるような内容の1文を評価の理由欄に記入させ振り返りシートを確認する ●新出の言語材料を用いた文構造を理解している (言語や文化についての知識・理解) ○家庭学習について書けない生徒支援のために教師が共通の内容を指示する

